

阿倍野区将来ビジョン（案）（概要版）

～誰もが住みたい 住みたいまち『あべの』の実現～

将来ビジョン

阿倍野区政を推進していくうえで、めざすべき将来像、その実現に向けた施策展開の方向性を区民のみなさまに明らかにし、共有するものです。

めざすべき将来像

「誰もが住みたい、住みたいまち『あべの』の実現

計画期間

令和7年度から令和10年度の概ね4年間とし、施策展開の方向性を示しています。

〈将来ビジョン〉

令和7年度から令和10年度

〈区運営方針〉

令和7年度

令和8年度

令和9年度

令和10年度

つながる・備える

人がつながり、安全・安心とにぎわいを
未来につなぐまち



育む・学ぶ

こども・若者たちがのびやかに成長
できるまち

暮らす・支えあう

誰もが自分らしく幸せに暮らし続けら
れるまち



未来へ取り組む 3つの柱

～つながる・備える～

人がつながり、安全・安心とにぎわいを未来につなぐまち

「人と人のつながり」を基礎とする地域コミュニティの維持・活性化に取り組むことで、災害に強く、犯罪・交通事故を防ぎ、安全・安心でにぎわいのある魅力あふれるまちづくりをめざします。

○つながりのあるまちづくり

- ・身近な地域のつながりを感じることができるよう地域活動協議会の活動支援、町会加入促進を進める。
- ・地域活動団体等と協働し、誰もが楽しめる交流の場を提供する。

○災害に強いまちづくり

・自助・共助などを通じた防災・減災の仕組みづくりや地域の自主的な防災の取組を支援するとともに、若年者層への防災意識向上に向けた取組を実施する。

- ・SNSの活用等、新たな情報伝達手段の拡充を図る。

○犯罪や交通事故を防ぐまちづくり

・事件、事故の被害に合わない、合わせないための意識向上に向け、出前講座の実施や各種広報媒体を使った啓発など、区民の安全を守る取組を推進する。

○魅力あふれるまちづくり

- ・「あべの dakara (宝)」※などまちの魅力情報を積極的に発信し、区内全域の回遊性を高める。
- ・地域団体や企業等によるイベント等を支援し、地域と共にまちのにぎわいづくりに取り組む。

※景観資源や商店街などの魅力資源、魅力あるお店や商品、区内外に誇れる企業などを、あべののお宝という意味を込めた「あべの dakara (宝)」と命名

～育む・学ぶ～

こども・若者たちがのびやかに成長できるまち

ニーズを的確にとらえた子育てしやすいまちづくりと学校教育のサポートをめざし、保護者・地域・学校園が連携し、こども・若者たちを健やかに育む取組を支援します。

○全てのこどもたちが幸せに成長できる、子育てしやすい環境づくり

- ・多様化する子育て世代のニーズに対応した各種事業を実施する。
- ・児童虐待や不登校など悩みを抱える保護者やこどもたちに対し、専門技術や知識を有する職員を配置して相談体制を充実するとともに、教育と福祉との連携等、関係機関と連携しながら効果的に支援する。

○時代の変化に対応した学校教育の推進

・小中学校の取組に加え、体力や学力の向上を支援し、さまざまな学びや体験ができる教育環境をととのえ、こどもたちが自己肯定感を高めながらステップアップしていけるよう支援する。

～暮らす・支えあう～

誰もが自分らしく幸せに暮らし続けられるまち

阿倍野区に暮らす、すべての人々が住みなれた地域で、人として尊重され、お互いが支えあい、自分らしくいつまでも安心して幸せに暮らせるまちをめざします。

○みんなで支えあう地域づくりと相談支援体制づくり

・地域にかかわるすべての人や団体等が連携・協働して環境の変化に応じた地域福祉活動に取り組むとともに、包括的な支援体制の充実に努める。

・複合的な課題を有する人や世帯に的確に対応するため、関係する事業者や支援者同士の連携を強化し、総合的な支援調整の場（つながる場）や支援会議の仕組み等を活用し、適切な支援へつなげる。

※地域福祉の方向性を取りまとめた「阿倍野区地域福祉計画（令和7年～9年度）」に基づき取り組みます。

○地域ぐるみで、誰もが元気に暮らせる健康づくり

- ・区民一人ひとりの健康意識を高め、主体的に健康づくりに取り組めるよう支援する。
- ・健康づくりイベントの参加者拡大に向けたより効果的な情報発信を行うとともに、イベントの担い手に対する意識の啓発と知識の向上に努める。

施策推進のために

より便利な区役所づくり

- ・区民ニーズの的確な把握
- ・区政情報の効果的な発信
- ・DXの推進
- ・官民連携の一層の強化
- ・SDGsの推進